

挨拶

学長 望 月 日 雄

此度日静上人の後を承けて身延山の法灯を継承致すこととなりましたが、懷うて寔に感慨深いものがあります。御承知の如く日静上人の下に総務として又本学苑の理事長として十余年間御仕へして参りました。此間仏天の御加護と法主様首め各位の御努力に依り、学苑校舎講堂、並に体育館の完成と云う大事業を果し、此の棲神第四十号及び第四十二号にその経過を報告申上げることが出来ましたことは私に取りまして生涯の喜びであります。

改めて山史を見るまでもなく、御歴代の先師方何れも興学布教に尽力されて居られますが、特に師父たる第八十三世日謙上人が、或は立正大学長としては谷山香風寮を開設して僧風教育に意を注ぎ、又法主としては、本学の前身祖山学院の専門学校昇格、祖山中学の実現と云ふ永年の念願を實現し、又信行道場の開設と云う宗門画期的制度を制定されて法器の養成に尽瘁し、更に日静上人が師範建設の前記信行道場の改築を行い、此の立派な校舎の完成等かがやぐ後を継承致しました私と致しましては、更に一段の精進努力を重ねて教育の充実を図り、先師に御報いせねばならぬと痛感致す次第で御座居ます。併せて各位の一層の御協力を御願申上げます。

此の棲神も号を重ねて茲に第四十四号に達しました。年々立派な研究が掲げられて居りますが、更に広く皆様の御精進に依り、編輯者が採択に困難する程多数の発表がなされることを期待して息みません。